

小野谷機工の2プラス1事業

50周年機にTPMS強化

小野谷機工株式会社は、昨年創業50周年を迎えた。昨年2月に創業者の三村義雄社主が逝去されたのを機に、三村昌之会長が代表取締役会長CEOに、三村健二社長が共同会長に、宇田公郎専務が代表取締役社長COOに、左膳泰友常務が専務に就任する新体制がスタートした。コロナ禍の影響下で難しい取りが求められる中、小野谷機工がこれから目指す方向性はどうなのか。宇田社長、左膳専務にお話を聞いた。(木本)

—創業50周年おめでとうござります。三村社主が逝去され、昨年10月に新体制がスタートしましたが、この狙いについて教えてください。

宇田 10月に代表取締役社長COOに就任いたしました。

COOというのは、三村昌之会長、グループCEOで、特に創業者の三村義雄社主が晩年、地域貢献活動に非常に熱心に取り組まれていて、公的な役職だけで30位ありました。

商工会議所とか観光協会などでは社主のそういう貢献活動を引き継いで活動していただきま

しょうということでCEOの名前を付けております。健二会長は今回、社長から会長になられたんですけども、共同会長という形です。社長時代に社員フ

アーストを経営の柱にされてこられたので、引き続きそういう形で、引き続きそういう形で、COOという名前を社長の後に付けたというこ

とです。グループ、特にタイヤ事業の執行の方を担当している

関連事業の実務の調整を役員と連携して担当していくという形で、COOという名前を社長の後に付けたといふことです。

宇田 お話をうながすと、

になります。チーム小野谷ということと、それぞれの強みで分担しながらやっているというこ

とですね。

—左膳専務の役割は

宇田 生産本部、環境機器本

部、それに加え営業本部の本部のCOOという形ですね。三長代行という形ですね、私も

ちょっと本社にどまらないと

いけない時間が多くなるので主

要なお客様をフォローしてもら

うことが目的です。

宇田 要は非常に時代の変化

が激しいですね。環境や車の変

化、社会の高齢化。タイヤ整備

と言う意味でもいろんな課題が

出てきました。変化に対応した

ことでニーズが変わつておりま

すので、対応した機械を時代に

合わせてつくっていく。それが

あって商品開発、製造、営業を

進めていくのかなと。そこそこ

野谷のカラーを出していければ

ということですね。

宇田 お客様のニーズの中に

は安全作業ということがまず第一にあります。今までより安全

にどういうこと、もう一つはや

り入手不足があるのでシニアや女性、経験の浅い人であると

か作業する人が多様になってい

るのでそういう人達にも作業が楽なること、安全と負担軽減を二本柱にして商品開発を進めています。

—それに沿った商品開発も大変なことですね。

宇田 確かに大変です。ただ

創業者の時から基本は耐久性があつて樂で付加価値を付けると

いう、機能で他社と違うというような機能を付けてモノをつくつてしまつて。独創的な商品をつくりていこうというのがDN

Aというか根柢にあります。それは大切に引き継いでいきた

い。そのためには基礎的な技術力の向上というものをやってい

かないお客様のニーズに応えられるものをなかなかつくれま

せんので、今私たちは产学共

同、福井大学や金沢大学の工学部と連携し、知恵をつなぎなが

ら開発スタッフのレベルアップ

とか商品に付加価値を付けるた

クが終わる頃までサービス機器

とお客様との接点を養つてお

りました。去年の春以降、オリンピックが終わる頃までサービス機器

についてかなり売上が厳しかつ

たが、時間とともに説明書を失

くされるお客様も多いんです

ね。ホームページにそれがあ

れば必要な時に見ることができます。もう一つはメンテナンスサ

ービスの要素を簡単にしま

した。メインのTBエンジニア

とかバランサー、非常にちよつ

としたメンテナンス不足による

故障の問い合わせも多いんですね。けど、「保守点検」のコーナーを作つてクリックすれば保守点検のやり方を一目で見れるようになりました。簡単な調整とか、どういう手入れをすれば機械がいい状態で使えるかとかですね。

—ホームページを見るお客様が増えたんですか?

宇田 おかげ様で増えており

ます。それからいろんなニュー

スですね。企業活動とか、新商品発売の予告とか、出来るだけ

お客様にメッセージを、常に刷りながら届けるようにしてお

ります。コロナでセールスが訪問できない、行けないと提案も

デモソースーションもできな

い。ですがホームページを見る

た。過去、リーマンショックでかなり大きなダウンを経験しましたがそれと同じようなもので

した。その後どうなったのです

宇田 いつか回復すると思う

と次の波が来て、という状況だったのですが、何ができる事はないかと思って実践したのがホームページの強化でした。商品をや特許といったものは、知財戦略としてしっかり取り組んでいます。

宇田 そこから生まれた技術

確かに大変です。ただ

創業者の時から基本は耐久性があつて樂で付加価値を付けると

いう、機能で他社と違うという

ような機能を付けてモノをつくつてしまつて。独創的な商品をつくりていこうというのがDN

Aというか根柢にあります。それは大切に引き継いでいきた

い。そのためには基礎的な技術力の向上というものをやってい

かないお客様のニーズに応えられるものをなかなかつくれま

せんので、今私たちは产学共

同、福井大学や金沢大学の工学部と連携し、知恵をつなぎなが

ら開発スタッフのレベルアップ

とか商品に付加価値を付けるた

クが終わる頃までサービス機器

とお客様との接点を養つてお

りました。去年の春以降、オリンピック

についてかなり売上が厳しかつ

たが、時間とともに説明書を失

くされるお客様も多いんです

ね。ホームページにそれがあ

れば必要な時に見ることができます。もう一つはメンテナンスサ

ービスの要素を簡単にしま

した。メインのTBエンジニア



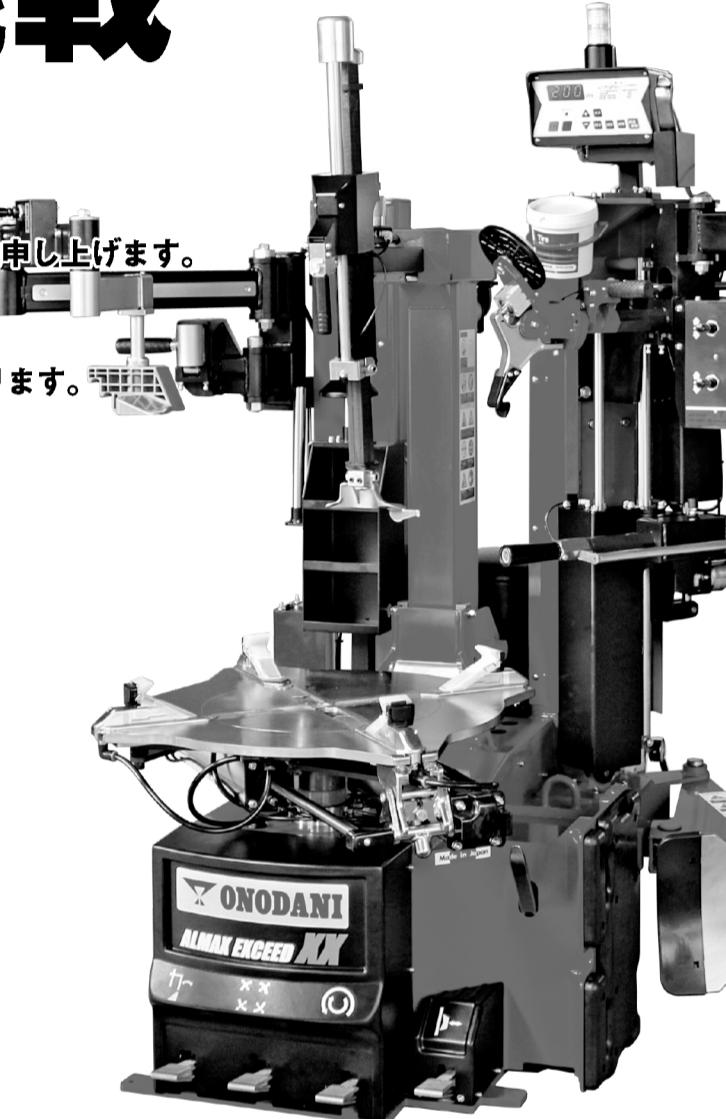
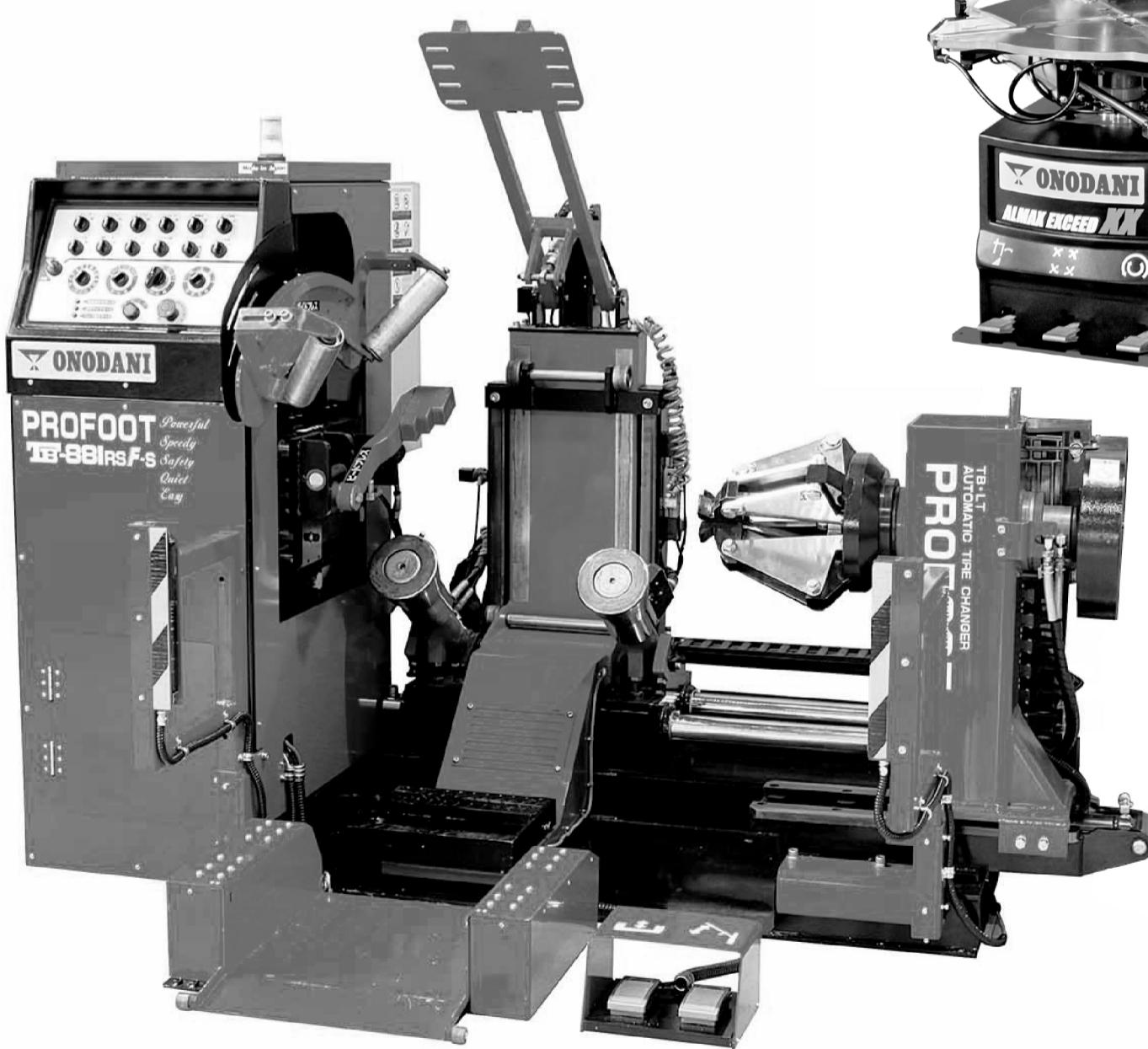
50年の感謝 未来創造に挑戦

小野谷機工は昨年おかげさまで創立50周年を迎えました。

これまで弊社製品をご愛顧頂いていますお客様、お取引先様に厚く御礼申し上げます。

そして次の50年

お客様のニーズにこたえる創造的なモノづくりに力強く挑戦してまいります。



地域未来牽引企業

小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 TEL.(0778)22-2124

札幌営業所 ☎(011)791-8588
東京営業所 ☎(03)5970-6011
福井営業所 ☎(0778)21-0335
福岡営業所 ☎(092)582-6743

仙台営業所 ☎(022)255-7408
新潟営業所 ☎(025)281-8251
大阪営業所 ☎(06)6701-7315

秋田営業所 ☎(018)800-2556
名古屋営業所 ☎(052)354-1021
広島営業所 ☎(082)943-8455

